

倶多楽

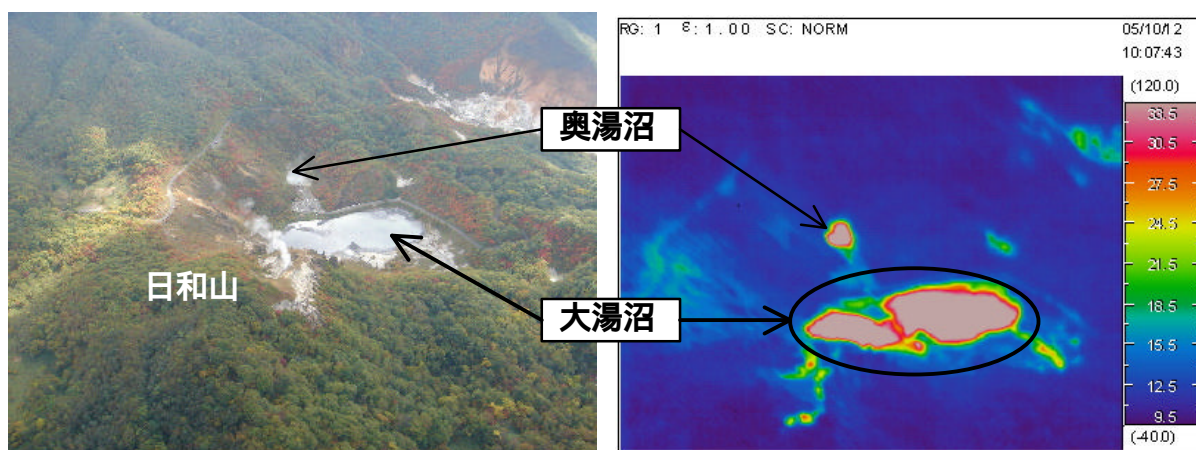
1 概況

上空からの観測では、日和山の山頂部や地獄谷爆裂火口内で噴気活動が認められ、大湯沼では湯溜まりの状態が続いていました。

前回(9月28日)実施した上空からの観測と比較して火山活動に変化は認められませんでした。

2 上空からの観測結果

10月12日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測では、日和山の山頂火口で依然活発な噴気活動が続いており、白色の噴煙を30～50m程度の高さまで勢いよく噴出していました。大湯沼と奥湯沼は全面湯溜まりの状態が続いており、地獄谷爆裂火口では弱い噴気が認められました。また赤外熱映像装置*による観測では、前回の上空からの観測（6月1日）と比べて大湯沼周辺の温度分布に変化は認められませんでした。



北西側上空（下図→方向）から測定した日和山付近の表面温度分布

* 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。



倶多楽周辺図